

観光立国推進本部観光連携コンソーシアム（第5回）議事概要

1. 日 時 平成 22 年 5 月 20 日 16:30～17:30

2. 場 所 観光庁国際会議室

3. メンバー

【メンバー】

藤本国土交通大臣政務官（事務局長）、立岡内閣官房内閣審議官、和泉内閣府地域活性化推進担当室長、渡辺総務副大臣、側嶋外務省大臣官房広報文化交流部参事官、中川文部科学副大臣、舟山農林水産大臣政務官、松下経済産業副大臣、田島環境副大臣

【有識者】

須田寛氏（東海旅客鉄道株式会社相談役）、松田壽美子氏（特定非営利活動法人 J. POSH 副理事長・事務局長）、大社充氏（特定非営利活動法人グローバルキャンパス理事長）

○須田寛氏から産業観光の現状と課題について、松田壽美子氏より日本乳がんピンクリボン運動・温泉ウェルカムネットワークについて、大社充氏より観光振興による地域活性化についてヒアリング。

○出席者間で概要以下のような意見交換が行われた。

- 日本乳がんピンクリボン運動・温泉ウェルカムネットワークの取り組みを広く普及するため働きかけていきたい。
- 産業観光振興のためには、現在稼働している工場の開放も必要。また、築地市場は外国人観光客に人気であり、外国人にとって魅力的な資源を発掘しなければならない。そのためには外国人の視点が必要。
- 観光地域づくりプラットフォームでは、常に情報が交流する仕組み作りが必要であり、民間や自治体など多様な主体が入る必要があるのではないか。
- ユニバーサルサービスへの理解促進のためには、業界団体が集まる総会等にて情報提供する必要がある。旅館に関しては、各県の条例を管轄する総務省と協会を管轄する厚生労働省が連携していく必要がある。

以上